

受動態 (be 動詞 + 過去分詞)

受動態とは、「～が～された」、という受け身の動詞によって表現された表現のことをいいます。

● 基本的な受動態の作り方

下記の日本語を見てください。

A. 彼はこの壁を塗装した。

(He painted this wall)

B. この壁は彼によって塗装された。

(This wall was painted by him)

A は「彼」が主語になり、彼が～をした、という文章 (SVO の第3文型) です。

B は「壁」が主語になることで、彼によって塗装「された」という受け身の文章になっています。これを英語では受動態といいます。ここでは受動態の文章の作り方について説明します。(彼に「よって～」の部分は by で表すことができます)

受動態は文の主語の後に続く動詞の部分を「be 動詞 + 過去分詞」で表すことができます。その行為を受ける主語(壁)が主語ならば、このあとに be 動詞をつけ、その後動詞の過去分詞をつけます。

では次の英語を受動態に変えてみます。

例★Tom fixed my PC.

「トムは私のパソコンを修理した」

これを受動態にするために「私のパソコン」を主語にし「私のパソコンはトムによって修理された」にします。英語にすると下記のようになります。

例★My PC was fixed by Tom.

「私のパソコンはトムによって修理された」

※主語「My PC」の後の was という be 動詞の後に fix の過去分詞である fixed をつけることで受動態の文章ができます。これが受動態の基本ですが、他にも種類があるので、次ページから述べていきます。

●受動態と助動詞の併用。

以下の文章をみてください。

例★*You can see planets in the western sky.*

「あなたは西の空でその惑星を見ることができる」

上記の文章は can という助動詞を含んでいますが、受動態はこのような助動詞を伴い、「その惑星が西のそらで見られることも可能である(できる)」という文章をつくることもできます。その際は助動詞のあとの be 動詞の部分で、be 動詞＋過去分詞にしましょう。受動態にすると下記のようになります。

例★*Planets can be seen in the western sky.*

「その惑星は、西の空で見ることができる」

※can 以外の助動詞 (should, must など) も同じ用法で使えます。will を使えば未来形の受動態として使用できます。

●第4文型の受動態

次の文章をみてください。

例★*He gave his brother a toy.*

「彼は弟におもちゃをあげた」

上記の文章は SVOO の第4文型です。この文章の中の「his brother」を主語にして「彼の弟は彼からおもちゃを与えられた」という受動態にするときは、主語の「his brother」後をまた be 動詞＋過去分詞で表し、その後にあげたもの (toy) をおくことで成立します。

例★*His brother was given a toy by him.*

「彼の弟は彼からおもちゃを与えられた」

●第5文型の受動態

次の文章をみてください。

例★*He made Mary happy.*

「彼はメアリーを幸せにした」

上記の文章は、SVOC の第5文型です。この文章を「メアリー」を主語にして「メアリーは彼によって幸せになった(幸せにさせられた)」という場合は、主語の Mary の後を be 動詞＋過去形にして、その後で C(補語)にあたる happy をとると成立します。すると下記のようになります。

例★*Mary was made happy by him.*

「メアリーは彼によって幸せになった」

●完了形の受動態

以下の文章をみてください。

例★*I have finished my homework.*

「私はその宿題を終えたところだ」

これは「～したばかりだ」を意味する現在完了です。これを「宿題」を主語にして「宿題は今終わられたばかりだ」という受動態にするならば、助動詞の have の部分を、have + been + 過去分詞にすると成立します。宿題は三単元扱いにします。すると、下記のようになります。

例★*My homework has been finished*

「その宿題は今終わられたばかりだ」

●未来完了形の受動態(will + have + 過去分詞)

以下の文章をみてください。

例★*I will have finished my homework by next Wednesday.*

「私は次の水曜日までには宿題を終えているだろう」

この文章は「次の水曜日」という未来の時を指定して、「それまでには宿題を終えている(完了している)だろう」という完了を意味する未来形です。これを「宿題」を主語にした受動態にして「宿題は次の水曜日までには終わられているだろう」というためには、will の後を have + been + 過去分詞にすると成立し、下記のようになります。

例★*My homework will have been finished by next Wednesday.*

「宿題は次の水曜日までには終わられているだろう」

●進行形の受動態(be 動詞 + being + 過去分詞)

以下の文章をみてください。

例★*He is cleaning the floor right now.*

「彼は今床を清掃しているところだ」

これを床(floor)を主語にして「床が今清掃されているところだ」という進行形の表現をするためには、主語の The floor の be 動詞の後に being + 過去分詞をつけると成立し、下記のようになります。

例★*The floor is being cleaned right now.*

「床が今清掃されているところだ」